

請 願 書

番 号	請 願 第 7 号	請 願 者	中野市三好町一丁目2番10号 中野市美術館建設基本計画の再検討 を求める実行委員会 代表 市川 董一郎
受付年月日	令和7年11月14日		
件 名			
中野市美術館建設基本計画の再検討を 求める請願		紹 介 議 員	渡 辺 菊 男 中 村 明 文 松 樹 純 子

請願趣旨

私たち中野市民は、中野市立図書館敷地内にある緑豊かな「オアシス公園」内に、美術館を建設するという市の決定に対し、強い憤りと失望を抱いています。図書館敷地内オアシス公園は、図書館を補完し一体となって市立図書館を形づくるものです。同時に、市民が日常的に憩い、子どもたちが安心して遊び、高齢者も集い、四季の移ろいを感じることのできる貴重な公共空間です。ここに美術館を建設し、市民共有の貴重な財産を一方的かつ拙速になくすこと、更には市立図書館そのものの価値を損なうことの決定は断じて許すことができません。

本来、美術館は単なる展示施設ではなく、芸術作品の収集・保存・展示を通じて文化の継承・発展に資するものであり、市民一人ひとりの文化的な誇りを育む場であり、未来の子どもたちに引き継ぐ大切な財産であるべきです。だからこそ、その建設は「市民全体の合意」に基づき進められるべきものです。

私たちは、「誰のためのこういった施設にすべきなのか」「どのような形でつくるべきなのか」「美術館の新築は必要なのか」といった根本的な問いに立ち返り、市民が主体となって考え話し合う場を持つことこそ必要だと考えます。市民の合意形成を欠いたまま建設を進めることは、中野市の未来にとって取り返しのつかない禍根を残しかねません。

従いまして、私たち市民は、このまま建設計画を進めるのではなく、立場・意見の違いや世代を超え、市民が共に考え、議論し、合意形成を図った上で事業を進めるべく以下の通り「中野市美術館建設基本計画」の再検討を求めるものです。

請願事項

- 1 市立図書館オアシス公園内に美術館を建設する計画を一旦保留すること。
- 2 美術館建設の是非や場所については、広く市民の声を聴き十分な合意形成を図ること。
- 3 市民の合意を形成した上で、それを反映して事業を進めること。